

今年度初めての定期テストが終わりました。すでにテストが返却され、「頑張った成果が出た！」や「もう少し勉強しておけばよかった…」など、すでに振り返っていると思います。しかし、そこで終わるのはもったいないです。もっと深く振り返るために活用してほしいものは2つあります。

①学習計画

テスト期間中、「毎日英語に1時間使って、問題集をしよう！」のように計画を立てて勉強した人が多いと思います。テスト後によく分析すると、「全体的に勉強時間が足りなかった」や「苦手な教科に時間をかけすぎた」など、様々なことが分かってきます。自分にあった勉強法を見つけるヒントになるので、計画を見直すチャンスにしてください。

②返却された答案用紙

返却された答案用紙をじっくり見直し、自分の弱点や課題を分析することで、今後のテストに活かすチャンスにすることができます。「テストが終わったから終わり！」ではなく、次のテストのために答案用紙を活用しましょう。「でも、どうすればいいの？」と悩んでいる人もいます。私の経験談やアドバイスを載せたので、よければ参考にしてみてください。



・「解けたはず」の問題に絞って復習する。

間違えた問題を全て復習しようと思っても、問題数が多かったり、問題が難しかったりして、復習する気が起きないこともあると思います。そこで、復習は「解けたはず」の問題に絞ると復習することのハードルも低くなると思います。

私も学生時代、答案用紙が返却されたとき、「正解だと思っていたのに、間違えている…」という問題がいくつもありました。このような問題が復習すべき問題です。復習すべき問題は、「①ケアレスミスをした問題」「②自信があったのに間違えていた問題」「③解説を聞いたり読んだりして理解できた問題」です。先生からの解説を聞いたり、読んだりしても分からない問題は、すぐに理解できるような問題ではないことが多いです。その問題は一旦保留にし、「解けたはず」の問題を「解ける」までやってみましょう。

・次の目標点を設定する。

私は次回の目標点を設定する時、「解けたはず」の点数を加えた点数にしていました。もちろん次のテスト範囲や条件等は異なるため、目標点到達しなかったことも多々ありました。目標点を設定することにより、モチベーションアップにもつながると思います。

